

# 平成 17 年度 事業報告

自 平成 17 年 4 月 1 日

至 平成 18 年 3 月 31 日

社団法人日本グラススキー協会

< JGSA 事務局 >

〒270-0014 千葉県松戸市小金 335 E-309

TEL047-309-7001FAX047-309-7002

[www.grass-ski.or.jp](http://www.grass-ski.or.jp) [info@grass-ski.or.jp](mailto:info@grass-ski.or.jp)

# 〔 平成 17 年度事業報告 〕

社) 日本グラススキー協会

## 1. 関係各所との連携

管官庁、諸団体との関係維持につとめ、文部科学省・独立行政法人(3セクション)財団法人(4社)の会議出席、協力依頼、調査依頼への対応、申請等を行う。

また公認スキー場・非公認スキー場への行事案内(大会・講習会)

JGSA 活動報告を定期的実施した。

課題 = 非公認スキー場との連携。(協力スキー場)

## 2. 第 12 回高円宮杯グラススキー・ジャパンオープンの開催。

第 21 回全日本グラススキー選手権の開催

会場 山形県米沢市天元台スキー場

日程 9月16日(金)~18日(日)

総裁高円宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、大会・競技両運営共、関係各部署のご協力により成功裡に終了した。

地元有志(白布温泉)により実行委員会事務局を開設し、関係諸団体への各種要請により実行委員会を設立しての大会開催。実行委員会においては大会協賛募集から式典運営・競技運営、選手サポートと全面的に協力いただいた。

今年度よりジュニア を新設し、ジュニア層拡大につながった。

課題 = 大会日程の固定(9月最終週末開催が望ましい)

次年度以降の大会会場決定時期(大会前までに決定が理想)

## 3 ジュニア世界選手権・世界選手権への選手派遣

FIS グラススキー・ジュニア世界選手権 7月チェコ

派遣規定を基準に2名の選手を派遣。

新谷起世選手(中尾山高原 GSC) = 回転 3 位・大回転 6 位・スパー大回転 7 位

コンビ 3 位と日本人初のメダリスト誕生。

八島徹也選手(七ヶ宿 GSC) = 回転 15 位・大回転 10 位・スパー大回転 18 位

コンビ 14 位と健闘

FIS グラススキー世界選手権 9月イラン

7月の選考会(山梨県ふじてんリゾート)にて選考された選手 5 名

(男子 3 名・女子 2 名)を派遣

新谷起世(中尾山高原 GSC) 回転 6 位・大回転 6 位・S 大回転 8 位 CB6 位

中野佐保理(Team DLWH) スーパー大回転 6 位

飛鳥井匠哉選手(Team DLWH) 回転 17 位・大回転 30 位・S 大回転 29 位・C B 17 位

石川豊彦選手（入間市役所 SC） 回転 22 位・大回転 34 位・S 大回転 35 位 CB21 位  
木川将軍選手（サンパーク都留 GSC） 回転 27 位

大会運営他の諸問題をチームにて対応し世界選手権初の入賞選手 2 名誕生  
課題 = シニア選手の海外経験不足（遠征予算の確保）

#### 4. グラススキー普及イベント実施

##### \* 第 3 回 EnjoyGrassSki 森林公園開催

会場 埼玉県滑川市 武蔵丘陵森林公園 特設会場

日程 5 月 2 2 日（日） 内容 体験会・デュアルレース

国土交通省・武蔵丘陵森林公園の協力の基、総裁高円宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、

デュアルレース・講習会とも成功裏に終了。講習会には 70 名以上の参加。

TV 埼玉・埼玉新聞に情報掲載。

課題 = 18 年度の開催の必要性（開催内容検討）

今年もグラススキーを理解していただく為にデュアルレースを開催したが、3 回の開催で周辺地域への認知度も上がり、次年度以降体験会のみでも集客は可能と考える

##### \* 森林公園無料体験会（1 回 20 名、1 日 4 回開催）

6 月 26 日（日）7 月 24 日（日）8 月 28 日（日）9 月 25 日（日）

小学生・中学生を中心に毎回ほぼ定員の参加を頂く。

課題 = 日程の調整、7・8 月の気温上昇、次年度は 5.6.10.11 月に開催すべきではないか

#### 5. スポーツ拠点づくり推進事業実施（10 年以上継続予定）

##### 第 1 回都留市ジャパンジュニアグラススキー大会

対象 小・中・高生（3 区分）

会場 山梨県都留市 都留グラススキー場

日程 8 月 19 日（金）～ 21 日（日）

19 日トレーニングキャンプ・開会式・ジュニアミーティング

20 日大回転 21 日回転

財）地域活性化センター助成事業として開催し全国各地（7 ブロック）から 50 名を超えるジュニア選手が参加。

都留市・サンパーク都留 GSC 他の協力により、グラススキー過去最大のジュニア選手が参加して成功裏に終了。

初日のジュニアミーティングでは飛鳥井選手（世界選手権日本代表）、平沢 岳さん（スキーオリンピック選手）、小林 幸世さん（スキーワールドカップ優勝）と世界を意識したディスカッションを行う。また 3 名のゲストよりトレーニング修了証を参加者全員に配布

課題 = 助成事業としての全国 8 ブロックからの参加  
参加者倍増 今年度 ( 50 名 )

#### 6. B 級大会

J G S A 登録クラブ主管にて全九州 ( 2 戦 ) ・ 都留月例 ( 6 戦 ) ・ D L W H ・ セブ宿にて開催された。

#### 7. JGSA 研修会・講習会の実施

ステップアップ 2005 として 6 月サンパーク都留・8 月かいもん山麓グラススキー場にて開催。インストラクター研修、ジュニアトレーニング会を開催。  
昨年度作成グラススキーステップアップテキストの普及は勿論、各クラブ代表も参加しグラススキーの今後について貴重な情報収集の場ともなった。

#### 8. 各種検定会の実施

全日本テクニカル選手権 ( 山形県天元台 ) にて 3 名のデモンストレーターを認定した

#### 9. 「グラススキー協会ニュース」の内容充実・他媒体の有効利用

ホームページ、Mail を利用した情報発信に勤めるほか、スキー専門誌への掲載、又、森林公園体験会、都留市ジュニア大会、世界選手の活躍も多くのメディアに取り上げられるなど成果を挙げた。

#### 10. 「その他の固定資産」の整理

##### ロープ塔の有効利用

都留市ジャパンジュニアグラススキー大会開催に際しての設備として都留市へ譲渡 ( ロースピードロープ塔として設置 )

##### 車両の処理

廃棄を含めた検討であったが、所有権移転の手続きもあり、林化学工業にて保管していただきながら活用することとした ( 維持費他林化学工業負担 )

##### 計測システム

メーカー修理の後、都留大会、山形大会にて使用。

##### その他

ゼッケン・フラッグ・プライズテスト合格バッチ・平成 1 3 年度以前の各種資料他、協会備品の管理見直しを行った結果、今年度はゼッケンを新規に制作。

#### 11. 協会事務局体制の見直し

定款変更、事務局の移転登記を行うとともに事務局経費の削減に努めた結果、管理費削減となった。